



2019年12月23日

「30% Club Japan」への加入 ～日本企業における女性リーダーのさらなる活躍に向けて～

第一生命ホールディングス株式会社(社長 稲垣 精二、以下「当社」)は、この度「30% Club Japan^{※1}」に加入しました。当社は、変化し続けるビジネス環境や多様化するお客さま一人ひとりの価値観・ニーズに応えるため、多様性に富んだ人財・組織づくりに取り組んできました。

その一つとして、女性リーダー育成(別紙)にも積極的に取り組み、2020年代に女性管理職比率「30%」の実現を目指しています。(2019年4月現在「25.6%^{※2}」)

女性活躍推進を牽引する企業として、本取組をさらに推進・加速することで、当クラブのミッションである男女が平等に参画する豊かな社会の実現へ貢献していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標




※1 「30% Club」は2010年に英国で創設された、役員に占める女性割合の向上を目的とした世界的なキャンペーンであり、日本を含む14の国と地域で展開されています。今年日本で発足した「30% Club Japan」は、取締役会等、企業的意思決定機関における健全なジェンダーバランスが、企業のガバナンス強化はもちろん、持続的成長の促進、国際的競争力の向上、ひいては持続可能な日本社会の構築に寄与するとの考えのもと、企業のトップがメンバーになり、自らが主体的に取り組みを推進し、男女が平等に参画する豊かな社会に向けて貢献することをミッションとしています。



※2 第一生命ホールディングス・国内生保グループ合計。

<参考:当社における女性リーダー育成に向けた職位階層別研修プログラム>

当社の人財育成プログラムのうち、特に女性リーダー育成においては、職位階層別に体系化したプログラムにより、幅広い層における女性のパイプラインを強化しています。

取組み	具体的な取組事例
女性社長塾(D-WEL)	<p>女性の経営管理職層(部長・支社長)を対象に、社長が直接経営視点の醸成や視野拡大・意識醸成等を実施。</p> 
ラインマネジャー向け 役員とのメンタリング	<p>経営管理職を目指すラインマネジャーを対象に、担当外の役員と1対1でのメンタリングを1年間実施。さらなるキャリアの構築に向けて、経営の視点・姿勢を伝え、行動変革につながるよう支援。</p>
アシスタントマネジャー向け 次世代女性リーダー塾	<p>キャリアアップ志向の醸成や視野・視座の拡大につなげることを目的に、年間を通して「自分らしいリーダーシップ」を考える活動をチームメンバーとともに企画し運営・実施。</p> <p>また、この活動には役員も参加し、ラウンドテーブルなどを通じてメンバーとの対話やチーム活動をサポート。</p> 